

問1 北海道の沿岸部に位置する各都市と、それらが面している海域の名称の組み合わせとして、地理的な位置関係が正しいものはどれですか。

(2016年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 小樽市は日本海に面しており、網走市はオホーツク海に面している。 | 2. 小樽市は日本海に面しており、網走市は東シナ海に面している。 | 3. 小樽市は太平洋に面しており、網走市は日本海に面している。 | 4. 小樽市はオホーツク海に面しており、網走市は日本海に面している。 |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|

問2 日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2022年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。 | 2. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。 | 3. かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特殊鋼などを生産している。 | 4. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。 |
|--|--|---|---|

問3 北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|------------------------------------|---|
| 1. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された | 2. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた | 3. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された | 4. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接収して発展させた |
|---|--|------------------------------------|---|

問4 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、近年の地域社会における役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。

(2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 流氷の移動を妨げないように、沿岸部では一切の漁港建設が禁止されている。 | 2. 地熱発電のエネルギー源として利用され、周辺地域の電力をすべてまかなっている。 | 3. 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。 | 4. 大規模な稲作を行うための水資源として、春先の用水路に直接引き込まれている。 |
|--|---|---|--|

問5 北海道の十勝平野などで見られる、一つの耕地をいくつかの区画に分け、年度ごとにジャガイモ、小麦、てん菜（ビート）、豆類などの異なる作物を順番に栽培する農業手法を何といいますか。

(2024年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| 1. 輪作 | 2. 二期作 | 3. 転作 | 4. 二毛作 |
|-------|--------|-------|--------|

問6 日本全体の耕地面積のうち約4分の1を占める北海道の農業について、その生産規模を正しく説明したものはどれですか。

(2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 耕地面積は全国の4分の1だが、米の生産に特化しているため農業産出額のシェアは5パーセント未満である | 2. 農業産出額の全国シェアも耕地面積と同様に約25パーセントに達しており、面積相応の収益をあげている | 3. 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い | 4. 広大な土地を活かした付加価値の高い農業により、農業産出額の全国シェアは面積シェアを大きく上回る |
|--|---|---|--|

問7 北海道の道央部に位置し、広大な石狩平野の中に広がる北海道の道庁所在地について、その都市名と特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。

(2025年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。 | 2. 釧路市は、道東地方の石狩平野に位置する道庁所在地で、霧が発生しやすい気候を利用した乳牛の飼育が盛んである。 | 3. 函館市は、道南地方の政治の中心地であり、青函トンネルを通じて本州との結びつきが強い道庁所在地である。 | 4. 旭川市は、石狩平野の南端に位置する道庁所在地で、周辺では大規模な稲作が行われている。 |
|--|--|---|---|

問8 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 首都圏からの距離が近いため、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。 | 2. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。 | 3. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。 | 4. 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。 |
|--|---|---|--|

問9 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。

(2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|--------------|
| 1. ユネスコ | 2. 世界貿易機関 | 3. 国連児童基金 | 4. 東南アジア諸国連合 |
|---------|-----------|-----------|--------------|

問10 世界自然遺産である知床半島を含む北海道の東部沿岸では、夏季に「海霧」と呼ばれる濃い霧が発生しやすい。この現象の要因となる「季節風」と「海流（親潮）」の関係を説明したものとして、最も適切なものはどれか。

(2017年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. オホーツク海からの冷たい季節風が、親潮の影響で冷え切った陸地にぶつかり、上昇気流が発生して雲を作るため。 | 2. 大陸からの冷たく乾いた季節風が、暖流である黒潮によって温められた海面から大量の水蒸気を供給するため。 | 3. 南からの暖かく湿った季節風が、対馬海流の影響で温度が上昇し、空気中の水蒸気量が飽和状態に達するため。 | 4. 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通ることで水蒸気が凝結するため。 |
|---|---|---|---|

問11 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。

(2022年

栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 | 2. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 | 3. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 | 4. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 |
|--|---|--|--|

問12 札幌と東京の月平均気温および降水量を比較した際、札幌の気候的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2021年

茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 1月の平均気温は0度を上回るが、北西の季節風の影響で冬の降水量が東京より多くなる。 | 2. 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。 | 3. 一年を通して月平均気温が東京よりも高く、12月から2月の降水量は東京より少ない。 | 4. 夏の気温は東京と同程度まで上昇するが、冬は乾燥した北東の季節風の影響で降水量が減る。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 小樽市は日本海に面しており、網走市はオホーツク海に面している。	北海道は周囲を複数の海域に囲まれています。西側の石狩湾に面した小樽市は日本海側に位置し、歴史的に北前船の寄港地としても発展しました。一方、北海道の北東部に位置する網走市は、冬に流水が接岸することで知られるオホーツク海に面しています。太平洋は北海道の南側から東側にかけて広がっています。
問2	答え 3 かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特種鋼などを生産している。	問題文にある4445kmの海岸線や砂州、砂嘴といった地形的特徴は北海道のものです。北海道の室蘭などでは、明治時代から道内で産出される石炭や鉄鉱石を利用した鉄鋼業が栄えました。現在は資源の状況変化により輸入原料へと転換していますが、長年培った技術を活かし、自動車の重要部品に使われる高品質な特殊鋼の生産などで重要な役割を担っています。
問3	答え 2 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた	北海道の内陸部にある旭川などは、明治時代に屯田兵村が設置されたことで本格的な開発が始まりました。屯田兵は平時は土地を耕して農業に従事し、有事の際には兵士として活動する役割を担っており、計画的な区画整理によって現在の都市の原型が作られました。
問4	答え 3 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。	流水はかつて船舶の航行や漁業を妨げるものとして捉えられる側面もありましたが、現在では網走市や紋別市などで観光用の砕氷船が運行されるなど、冬の北海道を象徴する重要な観光資源として位置づけられています。農用水としての利用や地熱発電とは関係がなく、自然環境との共生を図りながら地域経済に貢献しています。
問5	答え 1 輪作	同じ土地で同じ作物を作り続けると、土壌の養分が偏ったり病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が起こります。これを防ぎ、地力を維持するために複数の作物を計画的に組み合わせる栽培します。二毛作は1年間に2種類の異なる作物を育てること、二期作は同じ作物を1年に2回育てること、転作は米の生産調整などで別の作物を育てることを指します。
問6	答え 3 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い	北海道の農業は「広大な農地」という特徴を持っていますが、統計で見ると耕地面積の全国シェア（約25%）に対し、農業産出額の全国シェア（約13.5%）はそれより低くなっています。これは、北海道が広大な土地を必要とする酪農や、大規模な機械化による畑作を主体としているためです。土地を効率的に使うことよりも、一戸あたりの生産量を増やす大規模経営に特化していることが、この数値の差に現れています。
問7	答え 1 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。	札幌市は石狩平野に位置する北海道の道庁所在地であり、人口190万人を超える政令指定都市です。北海道の行政や経済の中核機能を持ち、毎年冬に大通公園などを会場として行われる「さっぽろ雪まつり」は、国内外から多くの観光客を集める一大イベントとなっています。
問8	答え 2 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問9	答え 1 ユネスコ	知床の流水が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問10	答え 4 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を流ることで水蒸気が凝結するため。	北海道の東方沖には、北から流れてくる寒流の親潮（千島海流）が位置しています。夏、太平洋側から吹き込む暖かく湿った季節風が、この冷たい海面によって下から冷やされることで、空気中の水蒸気が細かい水滴（霧）となり、大規模な海霧が発生します。これが日照不足の原因となり、地域の農業に影響を与えることもあります。
問11	答え 2 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問12	答え 2 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。	札幌は高緯度に位置するため、一年を通して東京よりも気温が低く推移し、1月の平均気温は氷点下となります。また、日本海側の気候の特色として、冬に湿った北西の季節風の影響を受けるため、太平洋側に位置し冬に乾燥する東京とは対照的に、12月から2月にかけての降水量（降雪量）が多くなるのが大きな特徴です。